

10年後のリーダーを担う世代の若手職員が勉強会を立ち上げ、「未来提言」をとりまとめ、知事や県議会に提言を行っています。

■ 3期生の取組(令和4年度～)

コロナ禍等による社会やライフスタイルの変化をチャンスととらえて、三重の魅力さをさらに引き出したいという思いで、未来提言 Ver.3「みえインフラツーリズム～インフラの新たな可能性～」を提言し、実装に向け取り組みははじめました。



みえインフラツーリズム

3 提言

- ① インフラ施設を観光資源化
- ② インフラ空間の観光利用
- ③ 快適・便利な受入環境の整備



県土整備部若手職員からの未来提言の詳細はコチラ！！

https://www.pref.mie.lg.jp/KEIMACHI/HP/000125281_00017.htm



QRコードはコチラ



■ 迅速な災害復旧への取組

道路や河川、砂防施設などが台風など自然災害により被害を受けた際には、県土整備部がチーム一丸となって、日頃の業務で培った技術力を発揮し、迅速で円滑な災害復旧を進めることとしています。

職員による被災状況調査をはじめ、土砂崩れなどで通行止めとなった道路を早期に通行可能とするための応急工事や、本格的な災害復旧工事を確実に実施します。

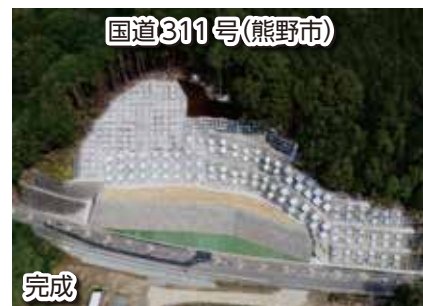
<職員による被災状況調査>



<応急工事>



<本格的な災害復旧工事>



■ 災害対応力向上への取組

また、南海トラフ地震などの大規模災害を想定した総合図上訓練や、現場における実動訓練を重ね、職員一人ひとりの災害に対する意識や災害対応力の向上に取り組んでいます。

